

当館における新型コロナウイルス感染者の発生について

1 概要

国立国会図書館の外部委託業者の社員1名（東京本館（千代田区永田町）勤務）が、新型コロナウイルス感染症に感染していることが判明しました。

なお、当該社員は自宅療養中です。

2 経緯

12月22日（火）発熱症状を発症し、同日検査を受検

12月23日（水）19時半、PCR検査陽性が判明と当館に報告

3 社員の従事状況等

当該社員は、国立国会図書館東京本館内に常駐して、利用者対応業務に従事していません。同社員は、12月20日（日）以降、当館には出勤していません。

なお、同社員は、出勤前の検温、勤務中のマスク着用、手指のアルコール消毒等の感染拡大防止策を順守しておりました。さらに、カウンターにおける飛沫防止ビニール等の対策も講じており、利用者との濃厚接触にはあたりません。また、現時点で、他の社員に発熱等の症状はございません。

今回の件を受け、当館では、既に適切な範囲に対して消毒を実施いたしておりますので、来館サービスを継続させていただいております。

今後とも、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、的確に対応してまいります。

●本件問合せ先

総務部総務課広報係 03-3506-3307（直通）